

平成28年6月30日

第18期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

## 貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急デザインシステムズ

# 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	1,465,431	(負債の部)	646,369
流動資産	1,281,708	流動負債	557,477
現金及び預金	1,936	買掛金	242,729
受取手形	13,137	未払金	45,386
売掛金	470,246	未払費用	59,518
仕掛品	29,130	未払消費税等	19,253
原材料及び貯蔵品	2,972	未払法人税等	56,287
前払費用	13,733	預り金	6,783
短期貸付金	692,526	賞与引当金	124,827
繰延税金資産	56,672	その他流動負債	2,691
仮出金	1,695		
その他流動資産	125	固定負債	88,892
貸倒引当金	△470	退職給付引当金	69,387
		役員退職慰労引当金	19,505
固定資産	183,722		
有形固定資産	124,314		
建物附属設備	18,454		
機械及び装置	50,700	(純資産の部)	819,061
車両及び運搬具	6,340	株主資本	819,061
器具及び備品	46,319	資本金	10,000
建設仮勘定	2,500	利益剰余金	809,061
		利益準備金	3,277
無形固定資産	15,121	その他利益剰余金	805,784
ソフトウェア	14,306	繰越利益剰余金	805,784
施設利用権	815		
投資その他の資産	44,286		
長期前払費用	132		
差入保証金	12,883		
繰延税金資産	31,133		
その他投資	136		
合 計	1,465,431	合 計	1,465,431

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産  
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

材料	最終仕入原価法
仕掛品	最終仕入原価法
貯蔵品	最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定率法
無形固定資産	定額法

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金	役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。 なお、執行役員に係る当該引当金は8,441千円であります。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。 ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	---

## 当期純損益金額

当期純利益	163,561千円
-------	-----------